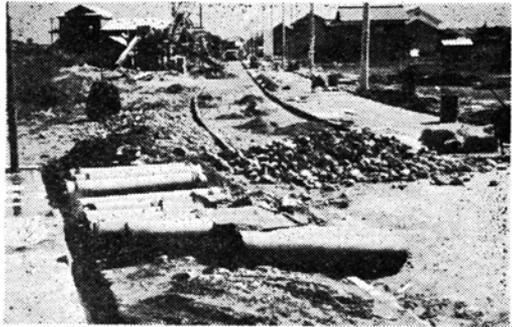


大野☆市報



国鉄駅前区画整理事業
市民待望の越美北線は来年11月より福井～勝原間の営業運転を行うといわれています。この開通を目前に控えて、市では国鉄駅前土地区画整理事業の完成を急いできました。

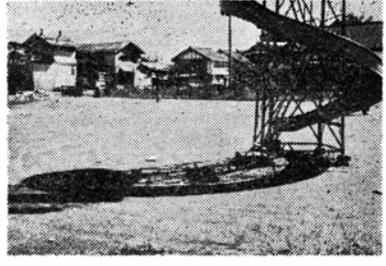
総工費二千五百万円を費した国鉄駅前土地区画整理事業は六カ年計画でさる昭和二十八年四月に着工しました。
この工事は国鉄駅前を中心に一〇・三ヘクタールの面積を区画整理してきました。

また緑地帯では、神明児童公園が〇・一六六ヘクタールで鉄製シソ鉄製二方滑台、鉄製モタレブランコ、遊動円木、低鉄棒、ラセン型総鉄製スベリ台など、このほか樹木はマサキ二百七十二本、ヒマラヤシダ十三本、ミドリスギ十二本、トゲナシ、ニセアカシヤ十五本が植付け

完成した街路の総延長は二、七七八メートルで幅一五メートルが、二〇四メートル、幅一メートルが四〇一メートル、幅八メートルが五一四メートル、幅六メートルが八六七メートル、幅四メートル以下が七九二メートルになつています

この工事は関係市民の理解と協力によつて、順調に進み、10月30日に全工事が完成し、新しい町並は将来大野市を商業都市へと発展させようとする期待が、いまから待たされています。

商工都市へ
発展の表玄関、完成



また、山王裏児童公園は〇・一〇三ヘクタールに鉄棒、三連製一基、ブランコ一基が建てられているほか、珍しい外国産を含む六十余種の樹木

が植えてあつて植物園にもなつています。これらの施設は、交通のはげしい都心から児童を守り自然に親しませてくれています。
(写真上、国鉄駅前通、下、神明児童公園)

市営住宅 入居者募集
◇入居資格者
1市内に居住しているもので現に住宅がなく困つてゐる扶養親族のあるもの。2毎月一定の基準収入のある者。3身元が確かで、保証人を二人つけられる者。
◇入居の選考方法
申込者多数の場合は抽せんを決めます。

県道 大野～武生線

早期改修方を陳情

羽根知事は十月十三日美山村南野津又から、県道大野～武生線を通り、大野市内の道路や橋の現況を視察しました。
当日、森広市長と森嶋議長、白崎建設委員、梅田建設課長のほか、商工会議所玉村会頭や大野地区の区長、商店繁栄会

多数出迎え、南野津又～野津又の道の間、約三キロメートルの内、未改修分約五〇〇メートルの早期改修の陳情があり、また、丁字道では、池田助役や松原総務課長、梅田建設課長のほか、商工会議所玉村会頭や大野地区の区長、商店繁栄会



の役員など二十数名が、丁字道～中丁間の改修工事の早期完成方を陳情しました。
県道、大野～武生線は美山村南野津又～大野市中丁間約六キロの間がとくに道幅も狭く、路面が悪く、自動車の通行が不能でした。物資交流が激しく人情、風俗ともよく似通つた味見との交通を盛んにしてほしいという陳情が、市制いらいつたものでした。
知事らはその後、市長室で大野地区の代表者とまた下庄地区では同出張所で、阪谷、五箇、富田地区は富田出張所で、小山、上庄地区は上庄出張所で、それぞれ関係地域の陳情を受けました。
(陳情する森広市長ら(印は丁字道))

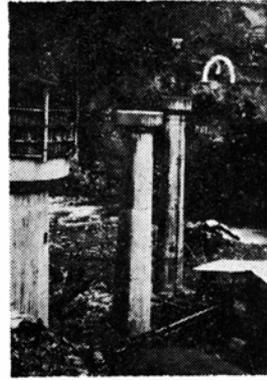


大野市と同じく金森長近

風見鶏
公が開いたと言われる飛騨の高山市を訪れたことがあつた亀山城跡のような、城跡には自動車も登れたが、私たちは歩いた。そしてこんもりと茂つた林や森の中に、落ちついた郷土博物館や図書館が静かに立つていた。▼遙か前方には日本アルプスが続き、眼下には富川の清流が街をよぎつていた。あてもなく街を歩くと飛騨のたくみたちが子孫と思われような古風な土産店などもあつた。▼土俗民俗誌「ひだびと」の編集者江馬三枝子氏と「山の民」(三部作)の夫君の江馬修氏が居住の地ときく同地に於いて長近公の遺跡であれば、日頃郷愁の念も手伝つてか、至るところが懐しかった。▼いわゆる高山市のもつ歴史的なものとして近代化的な感覚とをうまくマッチさせた市街地がうまく調和しているからだろう……。▼大野市も決して卑下するものではないが、郷土文化の香りをいろいろな面で発揮させるべきだろう……。商店診断などでせいぜい近代化することも結構、店内で働く人たちの態度、サービスする素養の向上を図ることも結構、要はこれだから本場の大野市街地の建設だと言うことをみなが心得ていることが肝要だと思ふ。

越美北線 西勝原ずい道完成 大野市発展の扉開く

国鉄越美北線、柿ガ島ずい道と、西勝原ずい道は総工費九、〇〇〇万円で昭和三十二年十二月に着工し西勝原ずい道は十月三十日に完成、柿ガ島ずい道は十二月に完成することになっています。



の長い宿願でありました。大正九年ごろからの開通運動が行われ昭和十年から六カ年継続事業で総工費一億八千万円を費して福井と大野間の路床工事が完成しました。その後、戦争の拡大によつて中止となっていました。戦後再び越美北線開通

新しい村造りが生んだ 理想郷 一ツ

九頭龍峡の絶景、魚止と宝善壁付近に点在していた仏原と湯上や、葛方原の区民は交通の不便なこの地を離れて、昨年の暮、木本原に入植してきました。

また県営ダムの建設で水没した西谷村の両秋生と小沢の区民も、大野市を永住の地に定めて木の本原開拓地へ入植してきました。そして、ともどもに水田

促進期成同盟会がで早期開通を要望して強力な運動が続けられてきました。

昭和三十一年七月十六日には、有終中学校で吉野運輸大臣らを迎えて盛大に起工式があげられました。その後、大野と西勝原間の路床工事と、南福井からは路床の補修工事や線路の敷設工事が行われてきました。

現在、南福井と市波間の線路敷設工事が完成し、昭和三十四年度中には営業運転が行われるという明るい見通しもついて、沿線住民を喜ばせています。(写真は第二鉄橋より柿ガ島ずい道口を望む)

5日から15日間 基本選挙人名簿の縦覧

九月十五日現在で作りました基本選挙人名簿は、十一月五日から同十九日まで十五日間、市役所総務課で有権者の方々に、名簿漏れがないか見ていただくことになっています。

来年は選挙の当り年、市議員、知事、県議会議員などの選挙があります。この基本名簿に漏れるとこれらの選挙ができないことがあります。一家の内一人は名簿を見ていただいて、漏れた者がいないかを確かめてください。

労してきましたが、恵まれた気象と、入植者の並々ならぬ努力が報いられて、初めて植付けた稲は見事に実りました。

新しい村造りの指定を受けた履区は、総工費九十二万四千円で共同作業所一むね木造二階建百二十二平方メートル(三十七坪)と農機具、精米機、ワラ打機、ナワナイ機、モーター各一台と三インチモミすり機二台を購入し、作業所は十月二十日に完成しました。

千年区では総工費四十万五千円で、共同作業所一むね、木造平屋建三三平方メートル(十坪)農機具、精米機六〇キロ張、ワラ打機直結型、ナワナイ機、モミすり機四インチ、モーター二馬力各一台を購入しました。新しい村造りの事業は昭和三十一年度から行われてきましたが、この事業は各地でよい成果を収めています。(写真は履共同作業所)

公民館の 表玄関を移築

大野公民館の入口は東側についていたので、ホールにはいるときは、たいへん

不便でしたが、こんど五十万円の経費で公民館ホールの北側へ木造平屋建、瓦ぶき五十九平方メートル(十八坪)の表玄関を作り直しました。また、十九平方メートル(六坪)のステージは同ホールの南側に移し、理想の公民館ホールが九月二十日にお目見えしました。これでみんなに親しまれる、はいりよい公民館ホールになりました。

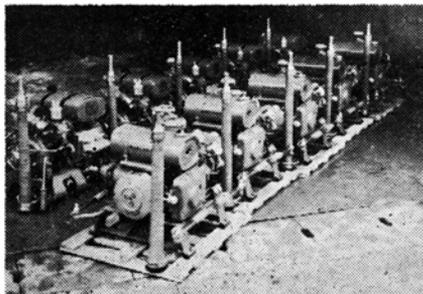


(写真は新装された公民館入口)

昭和34年版県民手帖 希望者は商工課へ

昭和34年版県民手帖が来ました。内容は県行政機関市町村要覧、メートル換算表、日記欄など豊富です。価格、一冊六〇円。希望者は十一月十日までに商工課へ申込んでください。

小型動力ポンプ十台購入 消防機具を充実



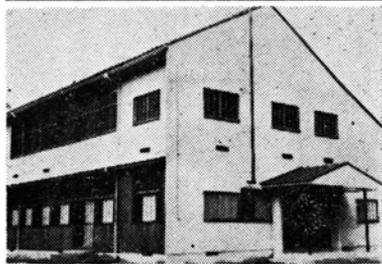
消防機具を機械化し、さらに充実を図るために毎年

市費を投じてきましたが、今年さらに百六十二万円を費して、動力小型ポンプを十台購入しました。
このポンプは十八馬力で一時間に二三八ガロンの放水能力を持った優秀品で、十月十四日に入荷して次の区へ配置しました。
寺、中保、牛方原、上黒谷、中掘、木本、森目、蕨生、裏道、消防署。
(写真は購入された小型動力ポンプ)

明かるい童顔

小山小学校第二分校(阿難祖分校)の改築工事は、総工費百三十五万円を費して十月十日に完成しました。
この学校は木造二階建、総坪数三百三十三平方メートル(百坪)で、階下は百十五平方メートルの講堂(五間一七間)になっています。二階は普通教室が二室作られました。
十月十五日に、しゅん工検査が終り、十六日には木

の香りも新しい校舎へ生徒徒がはいって、楽しそうに勉強に励んでいました。



(完成した阿難祖分校)

暴力を受けたら すぐ警察へ

迷惑な大野警察署では、暴力の徹底的取締りに努めています。出か 皆さんも協力く 届を ださい。暴力を受けたらすぐ警察へ知らせてください。あとのたた

りやお礼まいるの起る心配はいりません。あなたの身辺は警官が守ります。秋に多いあきす狙いに注意しましょう。自転車には必ずカギをかけましょう。交通事故が起らないよう皆んなで注意しましょう。
(大野警察署から)

小、中学校の教育 水準を高めよう



大野市学校教育研究会では、市内小、中学校の教育水準を高めようという目的のもとに、十月二十五日午前九時三十分から下庄小学校作法室で、約三百名が集って教育研究発表大会が開かれました。
定刻には松田市教育委員長ら多数の来賓のほか、市

あつてこそ、立派な教育ができるのであつて、険悪な空気の中には、良い教育はあり得ない」とあいさつをし、続いて松田市教育委員長や、森嶋市議会議長の祝辞があつて開会式を閉じました。
午前十時から東京教育大学教授、長坂端午氏の講演(とくに道徳教育について)があり、午後は十四の分科会に分れて、どのようにして市内小、中学校の児童生徒の教育水準を高めるかを研究し、午後四時、よい成果を収めて解散しました。

大麻を作りたい方は 届出をしてください

内小、中学校の教員らが作法室にぎつり語り、会長(小中学校校長会長)の開会のことばに始まり、寺島教育長は「静かなる学舎に
来年、大麻を作りたい方は、十二月十五日までに、

危険物取扱主任者 資格試験の講習会

11月20日消防署で

危険物(速燃性の油類、火薬類、強酸化性の物質)の取扱主任者資格試験を受ける方のために、十一月二十日午前九時から午後五時まで、大野市消防署で講習会が開かれます。
◇試験期日 十一月二十日
◇試験時間 六日午後一時から
◇ところ 大野市消防署
◇願書締切期日 十一月二十日
◇提出先 大野市消防署
【注】昭和三十四年から国家試験になるものと思われまますから、資格試験を受けた方は今年のうちに受けた方がよいと思ひます。



国保の点数表について

S子 乙表とはどんなものですか

(答) 新点数表には甲表と乙表がありますが、乙表は点数表の仕組みを大体今までと変えないで、計算しやすいように一点単価を十円(従来は十一円五十銭)としこれまで十点のものを十二・五点となるよう点数を高くしました。要するにこれまで十一円五十銭であった単価が十二円五十銭になったと思えば良いのです。

市役所農務課または各出張所で許可申請をしてください。
許可を受けて栽培しないときは、三年以下の懲役、または三万円以下の罰金に処せられます。
申請手数料は次のとおりです。
登録手数料 六〇円
身元証明手数料 六〇円
(継続者は不要)

一億円の経済効果

林道 鍋ガ平線が完成

林道、鍋ガ平(ナベガダイラ)線は上打波区と下打波区の間、県道、大野―白山線から打波川左岸へ渡つて、鍋ガ平地籍の中間につけられました。

この林道の受益面積は三〇〇ヘクタールにおよび、完成の暁には、一億円以上の経済効果があるものと見られます。

工事費二百五十一万円、林道延長六〇〇メートル、

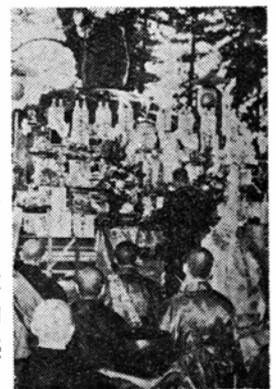
幅三・六メートル、昭和三十三年七月着工、同年十一月十日完成の予定です。



(写真は完成した林道)

月十日完成の予定です。受益状況―木材蓄積数、用材一、九一三、六四〇立方メートル、薪炭材二五二、五三五立方メートル。植林計画―昭和三十三年度、四二ヘクタール、同三十四年度、三八ヘクタール、同三十五年度四三ヘクタールです。

治山治水は 植林から



五五〇余柱の霊よ 永久に安らかに

戦没者秋期慰霊祭 10月10日午前10時から、戦没者秋期慰霊祭が、神明、日吉神社境内忠魂碑前で、終戦後13年に当る13回忌を兼ね、盛大に厳修されました。

200余名の遺族のほか、多数の参列者があり、花火を合図に雅楽に迎えられた円立寺住職を導師に僧侶の着席があつて、忠魂碑奉讃会長の祭辞、森広市長や各種団体長の祭辞が続いて行われました。また遺児を代表して、有終中学校の堀弘子さんは「お父さんがいなくとも、お母さんの愛で強く生き、勉強に励みます」と静かに眠る父に日ごろのところがまえをけなげに打ちあけ、参列者の涙をさそいました。読経が終わり、白崎大師範外6名の都山流尺八奉納吹奏があり、11時30分慰霊祭が終了しました。



市民の明の動き

古い歴史と伝統を誇る銀座商店街では、この町に商う百五十人の業者が集り、昭和二十九年七月に大野銀座商店街協同組合を作り直しました。

最近、各交通機関はひじょうに発達し、とくに自動車の実用化は他市との距離をちぢめ、これまでの古い習慣に頼つて商つていては他の市から商人がはいりこんで、これに押される向も見られるようになり、そこで、この会では新しい

感覚を取り入れて、顧客の好みに合った商い方を協同の力で研究して行くようしました。

まず町内の美華と夜も明るい市街にするために、昭和三十年十月に三十六万円

目ざましい発展を続ける

銀座商店街

を費してネオンアーチ二基を建てたほか、昭和三十年から五カ年計画で工費百万円をかけ銀座通りの両側に百本の街路灯を付けました

このほか店舗の射光や、店舗改装に力を入れ、自力

四百万円、市からは三十二年度二十三件、二百三十三年度三十一件、三百万円が貸し出されて、市内で利用されています。さらに、石ドウロに緑地帯を作るよう市に働きかけ

これに当るほか、県と市からの店舗改装資金を借入れ、次々と美しい店舗を作ってきました。(店舗改装資金は、これまでに県から三十二年度二十一件、二百八万円、三十三年度四十一件

地元では二十万円の負担金をだして、みどり公園を設置し、たくましい商魂が生んだこれらの施設は自然、客の足を銀座街に運ばせるような結果を生んでいます。

会員らは市の援助も受ける反面、納税組合を作り積極的に市政の協力にも当たっています。

理事長の鮎川さんは、長い伝統と体験を持つ銀座街では、越美北線がつき、さらに交通が頻繁になつて他方面の商人がはいりこんできて、まして驚くほどのこともなく、対抗して商つて行ける。また、銀座街の発展はこれからです、と強気に張切っていました。ここに強く、明るく、活動している市民の方々の努力に頭がさがる思いで、いとまをしました。



(賑う銀座商店街)

21名を表彰

第5回発育優良児

第五回赤ちゃんコンクールに選ばれた二十一名の発育優良児を、十月二十五日午前十時から大野公民館ホールで表彰しました。

表彰式には森広市長、勝山保健所所長らがでて発育優良児までに養育した母をたたえるとともに、優良児の将来を祝しました。

診断を受けた乳児は五十六名で、この中から二十一名を発育優良児として選びました。氏名は次のとおり

- 熊谷幸博(五番) 榎田英二(水落) 脇本博之(二番下) 山田一博(水落) 岩淵邦彦(神明) 高橋典子(清水上) 斎藤裕子(下舌) 上村康子(御給) 山田修治(北御門) 山口和子(西勝原) 奥田恵子(大山) 山下隆弘(中荒井) 坪内肇(下麻生島) 横町勝彦(富田開拓) 道下孝(中休) 石倉誠司(中荒井) 朱雀繁孝(曙) 木村玲子(中荒井) 丸山英史(伏石) 森本馨(横上) 万月雅明(中荒井)